

災害をわが身のことと考える 土砂災害・洪水に備える

日頃から、災害に備えてどのような準備が必要か、災害が起きたときにはどのような行動したらよいかなど、災害への関心と適切な知識を持って、いざという時のためにしっかりと備えておきましょう。

問い合わせは、安全安心課防災係（☎内線462）へ。

今年7月、九州地方北部で局地的に激しい雨が降り、甚大な人的・物的被害を及ぼしました。住み慣れた家が損壊するなど、今もなお、避難生活を余儀なくされている多くの人があります。今回、被災した地域は、山間部が多く桐生市と地形が似ている点があります。

近年では、局地的豪雨や台風の大規模化などもあり、土砂災害や洪水は、「いつ」「どこで」起こるか分かりません。命を守る事前の準備と水平避難（立ち退き避難）

【事前の準備】

●防災・気象情報の収集

災害のときは自分の身の安全を確保し、テレビ（データ放送）やラジオなどからの気

象情報や避難情報などに注意しましょう。

市では、災害の危険が迫ったときに次の手段によって避難勧告などを発令して避難を呼びかけます。
主な伝達手段は次のとおりです。

- ・緊急速報メール
- ・桐生ふれあいメール
- ・防災ラジオ
- ・防災行政無線
- ・シェアード（テレビのデータ放送など）
- ・市ホームページ
- ・自治組織
- ・自主防災組織
- ・広報車

●地域の危険箇所や避難場所、避難経路の確認

地域によっては、地震や洪水、土砂災害など、災害の種類によって避難場所が異なり

ます。

事前に、住んでいる地域の危険箇所や避難場所、避難経路を確認しましょう。また、避難場所となる公民館や学校など公共施設のほか、自宅から近くでより安全な場所や、地域で定める避難場所を確認しておきましょう。

●非常持ち出し品や家庭内の備蓄品の準備

持ち出し品は、避難場所までの距離などを考え、持って避難できるだけの必要量にしましょう。

家庭における食料や水などの備蓄品は、3日分程度を目安としましょう。

【水平避難（立ち退き避難）】

風水害などの災害による人的被害に遭わないためには「早めの避難」がとても重要です。また、土砂災害警戒区域や浸水想定区域に住んでいる人は、その区域の外にある安全な場所へ移動する水平避難（立ち退き避難）が原則です。

すでに道路が冠水しているなど、移動に危険が伴う場合には、無理に避難場所まで避難せず、自宅を含めて、げけや沢から少しでも離れた近隣の建物の上階に待避してください。

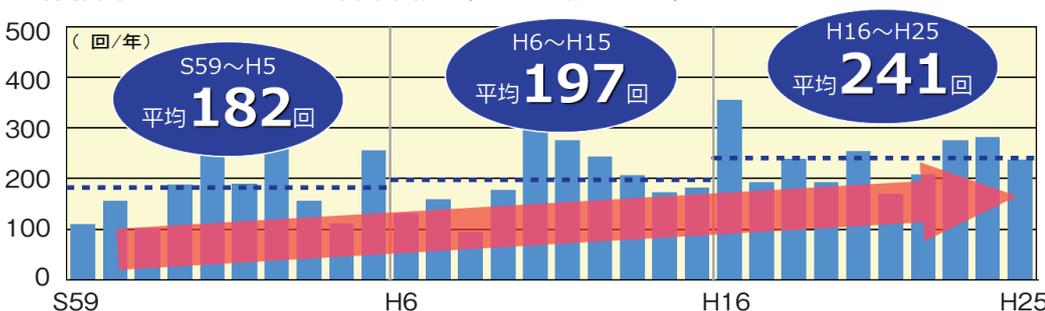
いざというときの対応を一人一人が状況に応じて自ら判断し、適切な行動をとることが大切です。

増加する集中豪雨

近年では、平成26年8月に広島県で土砂災害、平成27年9月に茨城県で洪水被害、平成28年8月に岩手県で土砂災害、そして、今年7月には、

九州北部豪雨被害と、毎年のように大規模な豪雨による被害が発生しています。これらの原因の一つとして、大雨の増加があります。台風による大雨や局地的に降る強い雨の発生回数が、全国的に増えています。

1時間降水量 50 mm以上の降水回数（1000地点あたり） 気象庁資料



土砂災害の前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

土砂災害の危険性の高い場所に住んでいる人で、下の表のような状況を確認した場合は、適切な避難行動を始めてください。

| | |
|-----------|--|
| 土石流の予兆現象 | <ul style="list-style-type: none"> 川の水がにごり、流木が混じり始める 雨が降り続けているが、川の水位が下がる 山鳴りがする ものの腐ったような臭い（腐葉土などの臭い）がする |
| 地すべりの予兆現象 | <ul style="list-style-type: none"> 沢や井戸の水がにごる 地割れができる 斜面から水が噴き出す 木の根のちぎれる音がする |
| がけ崩れの予兆現象 | <ul style="list-style-type: none"> がけから小石がパラパラと落ちてくる がけから水が湧き出ている がけに割れ目ができる 地鳴りがする |

緊急告知FMラジオ（防災ラジオ）

災害時の情報伝達手段の一つとして、「緊急告知FMラジオ」（防災ラジオ）を1台1000円でお配りしています。

このラジオは、電源が入っていない状態でも、緊急情報の信号を受信して、自動的に最大音量で流します。配布場所は、市役所3階の安全安心課、新里・黒保



根支所、境野・広沢・梅田・相生・川内・菱公民館です。問い合わせは、安全安心課（☎内線415）へ。

雨の降り方と雨量に注意しましょう

雨の強さと降り方を知り、雨量に注意することで、事前に災害発生の危険性を知ることができます。雨に関する正しい知識を持ち、日頃から災害に備えましょう。

| 雨の強さ（1時間雨量） | 降り方と災害発生の目安 |
|--------------------|--|
| やや強い雨 10～20mm | ザーザーと降る。 ・長く降り続くときは注意が必要 |
| 強い雨 20～30mm | どしゃ降り ・側溝や下水、小さな川があふれる ・小規模の崖崩れが始まる |
| 激しい雨 30～50mm | バケツをひっくり返したように降る。 ・山崩れ・崖崩れが起きやすくなる ・下水管から雨水があふれる |
| 非常に激しい雨 50～80mm | 滝のように降る。ゴーゴーと降り続く。 ・マンホールから水が噴き出す ・土石流が起こりやすい |
| 猛烈な雨 80mm以上 | 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。 ・大規模な災害の発生するおそれがある |

簡易雨量計を作る

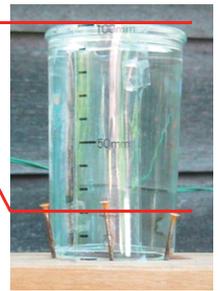
簡易雨量計を作り、日頃から雨量に注意する習慣をつけましょう。

作り方は簡単です。透明で寸胴の容器（カップ酒の瓶など）に目盛りをつければ完成です。

雨が降り始めたなら、外に出し、雨の量を観察してみましょう。

10cmの水が溜まる
100mm以上の雨

2cmの水が溜まる
20mm以上の雨



こんにちは！
市長です



桐生市出身の画家、山口晃さんに、「桐生市芸術大使」として就任していただくこととなり、9月2日に任命式を行います。

山口さんは、幼少期から高校卒業までを桐生で過ごし、現在は画家として活躍され、成田国際空港のパブリックアートなどを手がける一方、新聞小説や書籍の挿絵・装画も制作するなど、幅広い活動をされています。

私が山口さんにお会いする機会があった際に、桐生市発展のための協力をお願いしたところ、快く承諾をいただき、このたびの就任となりました。山口さんには、桐生市の芸術振興に関して提案していただくだけでなく、まちづくりへのアドバイザーにもなってほしいと考えています。今後は、お力添えをいただき、桐生の魅力を全国各地へPRしていきたいと思っております。